全般季節予報支援資料 1か月予報 2014年1月10日

予報期間：1月11日～2月10日 気象庁地球環境・海洋部

全般季節予報

(1) 特に注意を要する事項

北・東日本では、期間のはじめは、気温がかなり低くなる可能性があり、北・東日本日本海側では、降雪量が多くなる見込みです。沖縄・奄美では、期間の前半は、気温がかなり低くなる可能性があります。

(2) 出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

(3) 確率

1か月	気温(%)	1か月	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
	低並高		少並多	少並多	少並多
北日本	40:40:20	北日本日本海側 北日本太平洋側	30:30:40 30:40:30	40:30:30 30:40:30	20:40:40
東日本	40:40:20	東日本日本海側 東日本太平洋側	30:40:30 40:40:20	30:40:30 20:40:40	30:30:40
西日本	40:30:30	西日本日本海側 西日本太平洋側	30:40:30 40:40:20	30:40:30 20:40:40	30:40:30
沖縄・奄美	40:40:20	沖縄・奄美	30:40:30	30:40:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	70:20:10	30:40:30	30:40:30
東日本	60:30:10	30:40:30	30:40:30
西日本	50:30:20	30:40:30	30:40:30
沖縄・奄美	50:40:10	50:30:20	30:40:30

最近1週間の天候経過

最近1週間(1/4～1/9)は、前半、シベリア高気圧が本州付近に張り出し、北・東日本を中心に北から寒気が流れ込み、高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れる日が多かった。1/8～1/9に本州南岸を低気圧が通過したため、東日本太平洋側、西日本ではまとまった雨となり、週合計の降水量も平年より多くなった。

予報資料の解釈

● 1か月 (1/11~2/7)

- 500hPa 高度は、日本付近では明瞭な偏差は予想されておらず、本州付近は弱い正偏差、北海道は弱い負偏差。地上では、シベリア高気圧の日本付近への張り出しが強く、日本付近は下層寒気の影響を受けやすい予想。

● 1週目 (1/11~1/17)

- 500hPa 高度は、北海道付近はやや明瞭な負偏差、本州付近は平年程度の高度。中央シベリア(90° E 付近)に明瞭な正偏差が予想されている。
- 海面気圧は、シベリア高気圧が日本付近に張り出す。90° E 付近の上層の正偏差の発達に呼応して、日本付近に張り出す予想。
- フィリピン付近は対流活発で、そこから日本南方へ低気圧性循環偏差が張り出す予想。このため、沖縄・奄美へ湿った空気が流れ込むが、本州付近への影響は一時的。
- 下層気温は、全国的に負偏差となる。
- 週間予報資料によれば、北日本と、東・西日本日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多い。東・西日本太平洋側は、期間の前半は高気圧に覆われて概ね晴れる。期間の後半は気圧の谷や寒気の影響で雲が広がり、雨の降る所もある。沖縄・奄美は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間の後半は雨の降る日があるが、期間の前半は高気圧に覆われて晴れる所もある。

▶ 想定される天候

- 北・東・西日本日本海側では、寒気(冬型の気圧配置)や気圧の谷の影響により、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い。
- 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- 東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美では、気圧の谷や寒気の影響により、平年に比べ曇りや雨の日が多い。

● 2週目 (1/18~1/24)

- 500hPa 高度は、1週目に90° E 付近にあった正偏差が弱まりながら南東進し、中国付近でやや明瞭な正偏差になる。
- シベリア高気圧は、1週目より弱まるが、それでも南側は平年より強い予想。
- 下層気温は、本州付近はほぼ偏差ゼロ、沖縄・奄美は明瞭な負偏差。
- 北・東・西日本は、寒気の影響は平年程度で、高気圧に覆われやすい。沖縄・奄美は、寒気の影響を受けるが、高気圧に覆われる時期もあり、平年に比べ曇りや雨の日が少ないとみる。

▶ 想定される天候

- 北日本日本海側では、寒気の影響により、平年と同様に曇りや雪の日が多い。
- 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- 東・西日本日本海側は、高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇り雪または雨の日が少ない。
- 東・西日本太平洋側は、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美では、寒気の影響を受けるが、高気圧に覆われる時期もあり、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

● 3~4週目 (1/25~2/7)

- 熱帯域の循環場の中緯度循環場への影響は不明瞭。また、MJOの東進も予想のばらつきが大。
- 日本付近の循環場のスプレッドも大きい。
- 500hPa 高度は、北海道は弱い負偏差、本州付近は弱い正偏差だが、平年程度まで割り引く。
- 日本付近の冬型の気圧配置は、平年程度の予想。
- 下層気温は、北海道は弱い負偏差、本州付近は弱い正偏差だが、平年程度まで割り引く。

▶ 想定される天候

- ・ 北日本日本海側は、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雪の日が多い。
- ・ 東・西日本日本海側では、寒気の影響により、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

気象庁ホームページ

○季節予報

http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html

○「向こう1か月の天候の見通し（1か月予報の解説）」

<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/001.pdf>

も参照してください。

この資料は、気象事業者等が気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。